

めあて

日本の伝統的な楽器でもある和太鼓の演奏を聴き、体験することにより、伝統文化について興味・関心を深め伝統音楽に親しもうとする心情を育てる。

対象：クラス単位・学年単位

対象

小4

小5

小6

中1

中2

和太鼓



授業の流れ（基本プラン）

1～2時限（通常の授業）

あいさつ（講師紹介）

演奏

講話

体験

質問

発表

- ◆演奏◆ 男体おろし等
《生の演奏を聴くことで魅力を感じさせる》
- ◆講話◆ 和太鼓の材質と歴史、奏法や表現方法について
《歴史的背景などについて話をし、身近なものであることに気づいてもらう》
- ◆体験◆ 太鼓のバチの持ち方、打ち方の練習
1回に10人～20人ずつ体験
〔事前に新聞紙等でバチを作っておいて、待っている時にそのバチと一緒に練習すると、時間短縮にもなり、騒がしくならなくてすむ
《自由に触れる、表現することで和太鼓に対する関心を高める》〕
- ◆質問◆ 体験したことでの疑問、知りたいこと等を質問してみましょう
- ◆発表◆ グループごとに体験した曲を演奏してみよう

新聞を丸めて作ります





講 話



演 奏



体 験



和太鼓とは・・・

日本における「太鼓」の歴史は非常に古く、縄文時代には情報伝達的手段として利用されていたといわれています。日本神話の天岩戸では、桶をふせて音を鳴らした事が伝えられています。中世では「お囃子太鼓」は戦国時代になると、大名達が自軍の統率をとるために太鼓を利用したとされる「陣太鼓」は、人間の心臓の鼓動に太鼓の鼓動がシンクロすることで自らを鼓舞する性質があるという説もあり、戦における太鼓の使用は、有効な活用方法だったといわれています。

☆実施校からの声☆

- ・ 太鼓の説明もあり、講師の熱心なお話にも感動しました。曲も多様なリズムが入っていてよかったです。子どもたちが飽きることなく活動できました。
- ・ 和太鼓の技能だけでなく、礼義についても指導くださり良かったです。
- ・ 1曲を演奏できるようにする内容だったので、成果が子ども自身にも分かって良かった。